

## 今週のトピック解説

# GX志向型住宅の補助が3カ月で終了 普及へ好調な滑り出し

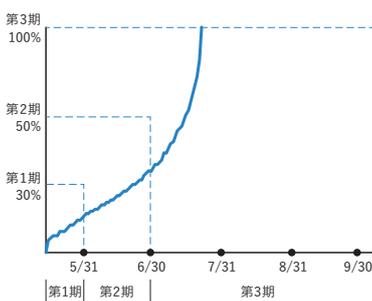
7月22日、子育てグリーン住宅支援事業で展開している「GX志向型住宅」の補助金申請受付が終了した。5月14日の交付申請受付の開始から約3カ月で総額500億円の予算を使い切ったことになる。

GX志向型住宅は、断熱等性能等級6、一次エネ消費量削減率△35%などZEHの上をいく次世代の高性能住宅として打ち出され、160万円/戸という補助金をつけられた。交付申請受付は第1～3期の3段階に分けられ、第1、2期は各期の予算上限額150億円に達した場合にいったん受付が終了し次月から再度交付申請受付が開始、上限に達しなかった場合は残予算が次期に持ち越されるという方法が取られた。5月14日に注文住宅が、5月30日から分譲住宅が、6月30日から賃貸住宅の受付が開始された。

補助金額は高いものの、断熱等性能等級6、一次エネ消費量削減率△35%という高性能な家づくりがどれだけ行われるか大きな注目を集めたが、蓋を開けてみれば交付申請は5月82億800万円（5130戸）、6月98億2400万円（6140戸）の計180億3200万円（1万1270戸）と順調に推移、同様の推移が続けば9月中にも予算上限に達するとみられていた。しかし、7月に入って様相が一変、第3期開始前日の6月30日の予算消化率は36%であったが、以降、申請件数が急増、約20日間で残りの64%分、320億円を消化した。

7月に入ってからの急増の要因としては、6月30日から賃貸住宅の

### 予算に対する申請割合の推移



交付申請件数は7月に入ってから急上昇

交付申請受付が開始されたことによるプラスが想定される。「一戸建てよりも一度に多くの住戸で申請できるため、申請件数と金額が大きく増加した主要因と考えられる。特に、大規模な賃貸住宅を扱う事業者による一括申請の影響が大きいのではないか」(ナ

イス)という声も聞かれた。一方、同事業を所管する環境省、国土交通省ともに申請件数の細かな分析はこれからであるものの、「毎日の申請状況を公表しており、その反応ではないか」(地球温暖化対策室 住宅・建築物脱炭素化事業推進室)と、夏いっぱい予算消化しそうな勢いのなかでの「駆け込み」の可能性を指摘する。

また、大手などに続いて地域の工務店が一気に動いたと指摘する声もある。大手ハウスメーカーでは相当数がGX志向型住宅の補助対象であり、高性能住宅に取り組む地域の有力ビルダーも先行して動いた。一方、4～6月は確認申請や構造計算の遅れで現場が混乱していたが、「先行する住宅事業者の状況を見ながらGX仕様の準備をしていた工務店が一気に動き出した。また、時間の経過とともに制度の内容やメリットが工務店や施主の間で広く知られるようになった」(ナイス)ことも急増の要因とみられる。

GX志向型住宅の補助金は、厳しい市場環境のなかで需要喚起の役割も果たしたようだ。某メーカーは「子育てグリーン住宅支援事業が終了した後も補助金相当金額をフルサポート」と、各展示場で新築住宅の需要掘り起こしに力を注いでいる。「物価高騰や将来的な金利上昇への懸念から補助金制度を活用して少しでも費用を抑えたいというニーズの高まり」(ナイス)もプラスに働いたようだ。

「大手ハウスメーカーの住宅は断熱等級6がボリュームゾーンになってきている。その動きに引っ張られて中小ビルダーも断熱等級5・6へ高性能化の動きが加速している」(旭ファイバーグラス)というなかで、GX志向型住宅の補助金が次世代の家づくりの呼び水になったことは間違いない。単純計算では500億円の予算で建設されるGX志向型住宅は3万1250戸。2024年度の新設住宅着工戸数81万6388戸と比べると約4%をGX志向型住宅が占めることになる。早くも26年度のGX志向型住宅の普及拡大に向けた補助事業実施、予算確保への期待の声も強い。

「GX」の家づくりは、まずは順調なスタートを切ったといえよう。

新刊 省エネ基準の義務化へ 関連法令を一冊に集約

住宅・建築に関わる企業、地方自治体、性能評価機関などに向けた必携の書

必携 住宅・建築物の省エネルギー基準関係法令集 2025

## 今週の主なニュース

7|18  
↓  
7|24

・国土交通省 令和6年度住宅市場動向調査の結果をとりまとめ

・住友林業 都心部でゆとりあるハイグレードな戸建分譲住宅を提供

・パナソニック ホームズ、兵庫県宝塚市 公民連携による付加価値創出型ニュータウン再生事業をスタート

・ミラタップ 新・設計支援サービス「ASOLIE セレクトプラン」を工務店向けに提供開始

・YKK AP 次世代型ソーラーセルを用いた建材一体型太陽光発電の実装検証を開始

・三井不動産、三井ホーム 企業連携型 SDGs 教育施設「くまもと SDGs ミライパーク」に「木の魅力」体験ブースをオープン